

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2017.9) 平成28年度:6.

福祉と連携した在宅ケア向上の検討 ～ICU看護師の立場から～

酒井 周平

## 福祉と連携した在宅ケア向上の検討 ～ ICU 看護師の立場から～

旭川医科大学病院 ICU

○酒井 周平

延命治療を望まずに在宅や施設で過ごしている高齢者の中には、病状が悪化した際に家族の希望によって救命センターに搬送され、患者本人の意向に反して積極的な治療が開始されてしまうことがある。また、慢性心不全や誤嚥性肺炎などの回復後に、在宅や転院先から再入院する患者も多い。このような患者やその家族へのケアの質の向上を図るためには、医療と福祉が連携した患者の治療に対する事前意思の確認や、患者ケアや症状の観察をする家族への支援

が重要であると考えます。

救急・集中治療領域の看護師の立場から、患者や家族への意思決定支援や、病状の増悪を繰り返す患者へのケアの充実を図るための専門職種間の連携について、超高齢化社会を迎える日本の現状を踏まえて検討していきたい。